

Ⅳ 思春期の子どもをもつ保護者を対象にしたプログラム

Ⅳ-1 思春期の心 ～青春時代へタイムスリップ～

対象：小学校高学年～高校生の子をもつ保護者
時間：90分程度

ねらい	自分の思春期や子育てをふりかえり、保護者同士で思春期の子どもについて話し合うことにより、子どもとのよりよい関係づくりについて考える。			
実施のポイント (評価など)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思春期の子どもに対する理解を深めることができる。 ○ グループ協議を通して、自分の子育てを客観的にふりかえることができる。 			
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ○ ワークシート（できればワークごとに1枚ずつ配付できるようにしておくとうい。） ○ 参考資料（まとめの部分で配付する。） ○ 名札 ○ 筆記用具 			
時間	学習活動	学習活動のねらいとポイント	準備物	
導入	10分	ワークの趣旨説明 ○アイスブレイク ・自己紹介 ・グループづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ プログラムのリード文をもとに、趣旨を確認する。 ・ 参加者の緊張をほぐし、自由に意見が出しやすい雰囲気づくりを行う。(自己紹介も含む) ・ 5～6人のグループをつくる。 	名札 リード文
展開	15分	ワーク1 ・各項目に記入後、自分の思春期の頃と同じだと思うことや親との関わりについて記入する。 ・グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分は、どのように親と関わっていたか、どのように親のことを思っていたかをふりかえることをねらいとする。 	(ワーク1のシート)
	25分	ワーク2 ・わが子の変化について、記入する。 ・子どもの変化について、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ◎思春期の子どもの変化についてグループで話し合うことで、子どもに対する理解を深めることをねらいとする。 ・ 四つの項目について、具体的に記入する。 ・ マイナス面ばかりでなく、プラス面も書くことを説明する。 ・ この場で話し合ったことは、他言しないことを約束する。 	(ワーク2のシート)
	30分	ワーク3 ・ワーク2をもとに、変化した子どもにどのように接すればよいかを記入し、グループで話し合う。 ・グループで話し合ったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ◎思春期の子どもとのよりよい関係づくりについて考えることをねらいとする。 ・ ワーク2で話し合ったことをもとに、記入する。 ・ 考えが違っても、受容的・共感的な姿勢をもち、互いの意見を尊重するように約束する。 ・ ワーク2の子どもの変化も踏まえて、話し合ったことを発表し、接し方について全体で共有する。 	(ワーク3のシート)
まとめ	10分	ふりかえり ・ワークシートへ記入する。 ・発表し合い、共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参考資料や家庭教育手帳のことを説明する。 ・ 全体で出された考えをまとめ、話し合ったことを、自分の子育てにぜひ生かしてほしいことを伝える。 	参考資料 家庭教育手帳